

ピロリ菌未感染胃癌

ー内視鏡所見のポイントを解説!ー

泉 敦子¹⁾, 堀内裕介²⁾, 藤崎順子³⁾

1) がん研究会有明病院 消化器内科

2) がん研究会有明病院 上部消化器内科 医長

3) がん研究会有明病院 消化器内科 部長

Helicobacter pylori (ピロリ菌)感染率の低下に伴い、ピロリ菌未感染胃癌は相対的に増加している。代表的なものとして印環細胞癌や胃底腺型胃癌(胃底腺型腺癌、胃底腺粘膜型腺癌)、ラズベリー様腺窩上皮型胃癌、腸型成分が含まれる分化型癌が挙げられる。印環細胞癌は、胃角部～前庭部に褪色調の平坦陥凹性病変として観察されることが多い。胃底腺型胃癌は、胃体上～中部の胃底腺領域に好発し、粘膜下腫瘍様の形態を呈する。胃底腺型腺癌は非腫瘍上皮で覆われるため境界不明瞭であるのに対して、胃底腺粘膜型腺癌は明瞭な境界や不整な表面微細構造、微小血管構築像を認めることが多い。腸型成分を含む分化型癌は前庭部に多く、隆起型びらんととの鑑別が問題となるが、NBI拡大観察で不整血管を呈することが特徴である。ピロリ菌未感染胃癌のそれぞれにおける特徴的所見を熟知した上で、注意深い観察を行い、病変を拾い上げることが重要である。

はじめに

胃癌の大半は、*Helicobacter pylori* (ピロリ菌)感染を背景として発生する¹⁾。しかし、近年ピロリ菌未感染胃癌の報告が増えており、その頻度は胃癌全体の1%程度とされている^{2,3)}。ピロリ菌未感染胃癌の内訳は、食道腺癌と鑑別が必要となる食道胃接合部癌を除くと、印環細胞癌、胃底腺型胃癌(胃底腺型腺癌、胃底腺粘膜型腺癌)、ラズベリー様腺窩上皮型胃癌、腸型成分が含まれる分化型癌、その他(家族性大腸腺腫症に合併した胃癌、胃底腺ポリープの癌化、Epstein-Barr virus (EBV) 関連胃癌など)が報告されている。

本稿では、印環細胞癌、胃底腺型胃癌(胃底腺型腺癌、胃底腺粘膜型腺癌)、ラズベリー様腺窩上皮型胃癌、腸型

成分が含まれる分化型癌に焦点を当て、症例提示するとともに、それぞれに特徴的な内視鏡所見について解説する。

印環細胞癌 (図1)

ピロリ菌未感染胃癌の中で最も頻度が高い³⁾。胃角部～前庭部の胃底腺と幽門腺の境界領域に好発し⁴⁾、当院のデータでは平均腫瘍径は7mm程度と小さい病変が多い⁵⁾。多くが粘膜内癌であり、その理由は細胞増殖能が低いことが挙げられる⁶⁾。

内視鏡所見：白色光で境界明瞭な褪色調の平坦陥凹性病変として認識される。狭帯域光(Narrow-band imaging: NBI)非拡大観察では、境界明瞭な白色調病変として認識される。NBI拡大観察を行うと、癌が粘膜中

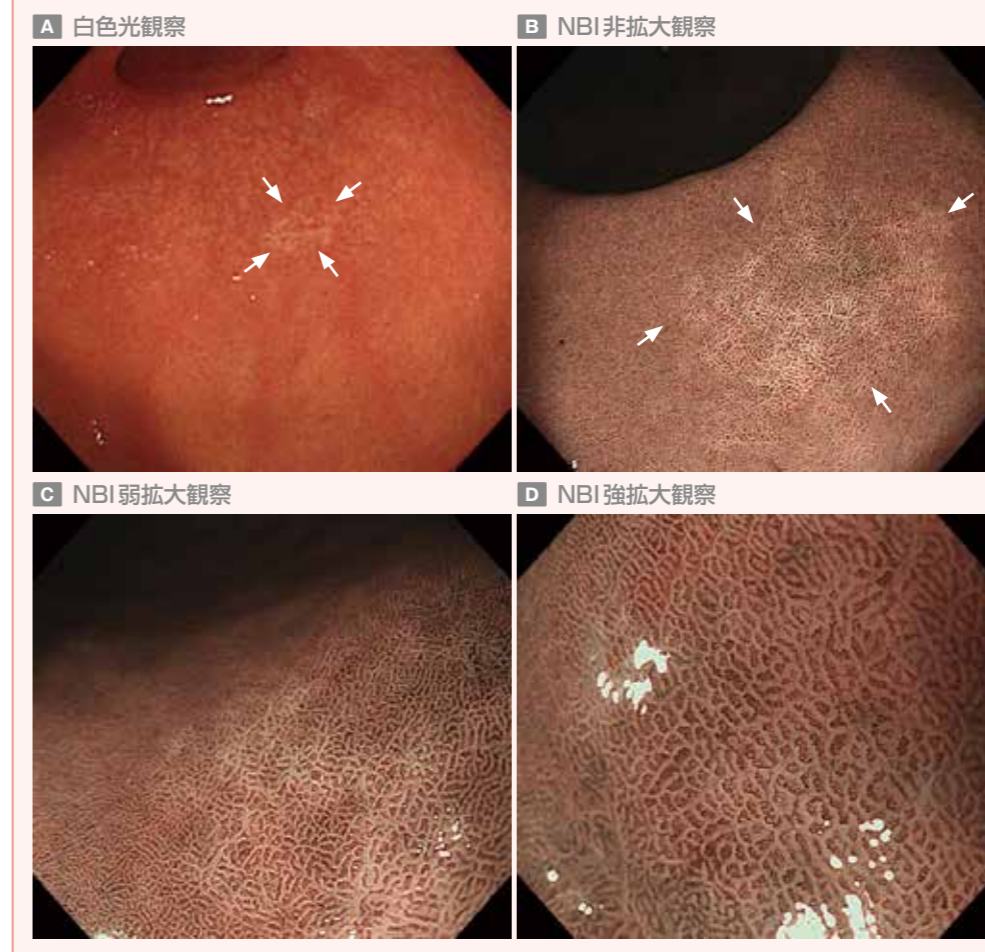


図1 印環細胞癌

A. 前庭部大彎に褪色調の平坦粘膜を認める。

B. 白色調の平坦領域として観察される。

C. 窩間部がわずかに開大している。

D. 微小血管は明瞭に観察されるものの不整は乏しい。

病理: type 0-II b, 14×10mm, adenocarcinoma (sig), pT1a (M), pUL0, Ly0, VO, pHMO, pVMO

層の腺頸部領域に局限して存在する場合、窩間部開大所見として認識され⁷⁾、癌が粘膜表層まで認められる場合、微小血管像も不整を呈するようになる⁸⁾。インジゴカルミンを撒布すると、むしろ病変が認識しづらくなることがあるので注意が必要である。領域性のある褪色調の色調変化が診断の契機となることが多く、白色光での拾い上げが重要である。

胃底腺型胃癌

2010年に上山、八尾らが新しい概念として提唱した胃底腺への分化を示す分化型腺癌⁹⁾で、「胃癌取り扱い規約第15版」¹⁰⁾では特殊型の1つとして掲載されている。胃底腺細胞に類似した細胞からなり、病理組織学的診断に加えて、免疫組織化学染色でpepsinogen I (主細胞のマーカー)またはH⁺/K⁺-ATPase (壁細胞のマーカー)

陽性による、胃底腺細胞への細胞分化の確認が確定診断に必要である。胃底腺型胃癌は、胃底腺型腺癌と胃底腺粘膜型腺癌に分類される。

胃底腺型腺癌 (図2)

胃底腺のみへの分化を示す低異型度の分化型腺癌。免疫組織化学染色ではpepsinogen I またはH⁺/K⁺-ATPase陽性に加え、ほとんどの症例でMUC6(頸部粘液細胞～主細胞のマーカー)も陽性となる。粘膜深層から発生するため粘膜下層に浸潤しやすい傾向にあるが、脈管侵襲やリンパ節転移の報告は非常に少なく^{11,13,14)}、低悪性度の腫瘍と考えられている。

内視鏡所見：胃上部～中部の胃底腺領域に好発し、小さい病変が多い¹¹⁾。典型例では、白色光観察で萎縮のない粘膜を背景として、境界不明瞭な褪色調の粘膜下腫瘍様病変として観察される。表層には拡張した樹枝状